

2013年（平成25年）3月5日（火曜日）

高齢者に安心も宅配

牛乳などの宅配を行う南山デイリーサービス（本社八戸市、南山泰政社長）は、盛岡市青山1丁目の盛岡ミルクセンターで、宅配の際に高齢者に声掛けする安否確認サービスを行っている。利用者に高齢者世帯が多いことに着目し、定期的に自宅を訪問する宅配事業を、福祉見守りに有効活用。利用者と配達員の信頼関係も深まり、暮らしの安心安全につながっている。



一人暮らしの高齢者宅に商品をお届け、体調などについて聞く盛岡ミルクセンターの配達員（左）

牛乳届け安否確認 週2回、体調に日配り

盛岡ミルク
センター

同センターは昨年6月に開所。青山や上堂、みたけなどを管内に、大手乳業メーカーの商

品を配達している。安否確認サービスは八戸市など青森県内6市町村で行っており、同センターでは昨年11月から開始した。

現在、サービスを利用するのは高齢者の単身・夫婦世帯6軒。週2回の配達時、配達員が体調を聞き、かかりつけの病院や日々の変化などを書いてもらう「ふれあい手帳」も渡ししており、毎回チェックする。

盛岡市高齢者支援室とも連携し、異常があった場合には連絡を取り、協力してもらう。サービスを利用する

盛岡市西青山1丁目の中村信子さん（81）は「決まった日に来てくれるのがありがたい。おしゃべり相手にもなってもらっている」と喜ぶ。

同社が青森県内で行ったアンケートでは、顧客の70%以上が高齢者で、健康への不安から見守りへの要望が高かったという。南山社

長は「高齢者世帯は外員も仕事の意義を感じている」と強調する。申し込み・問い合わせは同社（0120・0822031）へ。